

# PFでの回折データ処理ソフトの 整備状況と今後

山田悠介

KEK IMSS PF/SBRC

# PFでの利用可能な回折データ処理ソフト

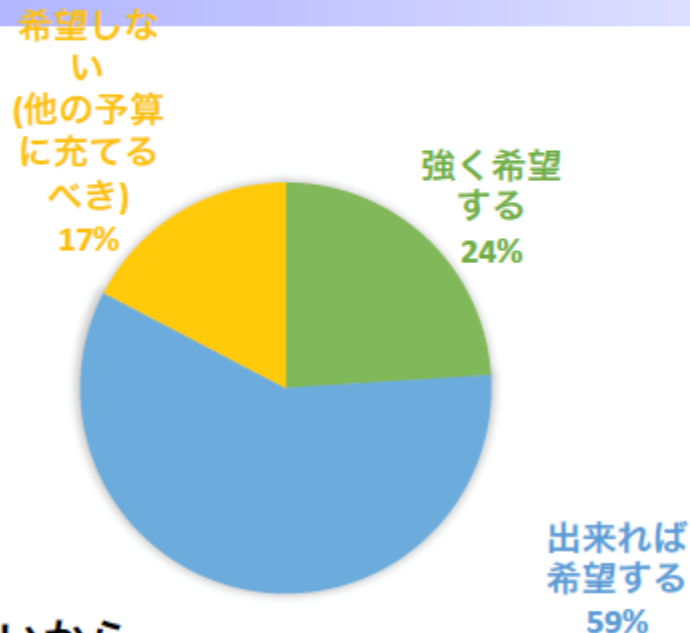
	GUI	自動処理	プロファイル フィッティング	並列処理	開発状況	ライセンス(*)
HKL2000	◎	×	2D/3D	×	△	有償
Mosflm	◎ (iMosflm)	△	2D	×	△	無償
XDS	○ (XDSCUI等)	○	3D	○	○	無償
DIALS	×	○	3D	○	○	無償

(\*) アカデミックライセンス

# PFビームラインでのHKL2000

- 現在最もよく使用されている処理ソフト
- PAD、ファインΦスライス、自動処理といったビームラインでのトレンドから外れてきている
- 高額な維持費（年間約300万円）
- 2018年度いっぱいまで廃止予定
  - 影響
    - ビームラインでのデータ処理
    - テンポラリライセンスによる研究所内での処理

# HKL2000 ライセンス維持に関して



## 維持を希望する理由

- 慣れている, 使いやすいから
- 優れているから (指数付けにおいて)
- 回折像を目で直接確かめる
- 教育的観点から

## 希望しない理由

- XDSで完結するため

HKL2000があるに越したことはないが, 他の予算の内容によってはそちらを優先し, 廃止することもやむを得ないと考えているユーザーが多い。

ただし, 廃止の場合は, 代替ソフトに関する講習会を希望する声がある。

# 2018年度末までの取り組み

- 講習会
  - XDS (今回、さらに継続的に)
  - DIALS (次回?)
- 以下のような事例を募集しています。
  - HKL2000でないと処理出来なかったデータセット
  - HKL2000で便利だった機能、実験中に無くてはならない機能
  - etc...

解決策を見つけて、ユーザー全体で共有したい。